

かわたな民報

第157号
2017年10月

日本共産党川棚支部
町議会議員 久保田かずえ
電話(833)23998
日本共産党川棚支部の見解を紹介いたします。

本日がわかる 明日がみえる

原発、憲法、消費税、雇用、TPP...「本日のこと
が知りたい」その思いにこたえる新聞です。
くらしに役立つ情報も満載です。



●毎日配達の日刊紙 月 3,497円
●毎週配達の日曜版 月 823円

2017年9月町議会で日本共産党の久保田かずえ町議は、石木ダム建設と、小中学校の先生の働き方について一般質問をおこないました。

「石木ダム」地権者の声が届く町政を

久保田かずえ町議

県の予備調査から半世紀、川原地区の住民の方々は様々な分裂工作を受けながらも、一貫して暮らしと自然、先祖から受け継いだ大事な土地を守るためにたたかってきました。8回もの工期変更しても未だ本体工事にたどり着けていません。

川原の方々は、石木ダム建設が本来に必要な工事なのか知事に対して話し合いに応じるよう求めてきましたが、いまだ実現できない状況が続いてい



久保田かずえ町議

ます。

平成7年6月、町と採石業者3社の間において、公害防止協定が結ばれています。

協定書には大型トラックは午後6時半から午前7時までは通行できないと謳っています。しかし今回、県は現場事務所設置のためや、大型重機の搬入のために深夜、町には一切の連絡もなしに大型車両を搬入しています。このことについて町長の考えを尋ねます。

町長

県道であったため、町への事前連絡は必要なかったと考えている。

久保田かずえ町議

県道のそばの住民は大型車

輻の地響きで目が覚めると聞いています。また、石木川の護岸を壊して大型車両が入っています。それでも、県のものだからこのような事をしてしまうとお願いでしょうか。

町長

車輛の搬入について、護岸を通した事については、あくまでも河川管理者の判断で、これに対して町が言える権限はないと理解している。

久保田かずえ町議

県のどのようなやり方についても何も言わない。事業認定の取り下げの裁判中でも何も言わないという町長の考えには、がっかりしました。

次に、石木ダム建設予定地の岩盤の安全性について尋ねます。

町長

石木ダム建設の地盤評価は、ダム建設に支障がないと県から説明を受けている。

久保田かずえ町議

県が大丈夫と言うから大丈夫とおっしゃっている。起業者が岩盤は不適切と言うはずがありません。

誰が町民の命と財産を守る立場に立つてくれるのでしょうか。

起業者の言う事をうのみにして、町民の命を守れると断言できますか。



工事現場。ブログ「石木川まもり隊」より

町長

石木ダムの事業については、土地収用法に基づく事業認定が告示されている。

久保田かずえ町議

佐世保市上下水道経営検討委員会の委員からも「当該事業に着手して以来30年が経過し、事業が長期化していること

から、どこかの時点で実現の可能性を判断し、場合によっては別の道をたどる必要がある」との意見もあつたとしています。また、地球温暖化により、各地で大雨による災害が起きています。石木川の合流地点より、上に降るか下に降るかの予測もできません。ダムがあつても役に立たないと思います。

町長

想定される災害に対応していくことが行政の責任だと思

久保田かずえ町議

県はいろんな宣伝物を県民に配布しています。

川原の方々は、事業認定の取り消しを求めて裁判を進めているところ

暑い日も寒い日も頑張ってたかかっておられます。そこにダムマニアの人が書いたものを無神経に配布する。

裁判中の人たちにとって、こういうものを配るといふ事がどんなに心が痛むか考えられませんでしたか。

県の宣伝物は配布すべきでないと思います。

ウラへ続く